人口人口 40

芝浦工業大学工学マネジメント研究科客員教授
谷口博昭

「道の駅」と官民連携

「道の駅」は平成5年から現在まで1154駅が登録されている。自動車利用者の安全性・快適性確保のトイレ休憩と共に、交通・観光等地域の情報を得たり地場産品の買い物等が出来、辛口批評の多い道路政策の中にあっても高い評価を受けている。自動車が止まることにより地域との接点が出来、道路管理者と地域との連携により地域が活性化している。今後、防災や地方創生の拠点としての機能強化が求められている。

「道の駅」は、地方創生と同様、地域特性を生かし他地域との差別化を図ることが肝要で、少子高齢化・人口減少、担い手不足時代、官民連携を高めることが求められる。

官には、公正・公平及び質と『ブランド』の維持を図る「道の駅」の基準策定や、適用に当たって杓子定規でなく現場にマッチした柔軟かつ弾力的な対応を期待したい。民には、地域と共に共有価値を創造するCSV（Creating Shared Value）を尊重し「稼ぐ」ための創意工夫とマネジメント力の「磨き」を期待したい。

官民連携は「言うは易く行うは難し」。ともすれば「官尊民卑」に陥りがちな風潮がある。官と民は本質的に価値観や立場が異なるが、官と民の適切な役割分担のもと、パートナーシップ精神で相互互恵、WIN＝WINとなる官民連携が求められる。

パートナーシップ精神は、上下でなく対等な関係、相互補完関係である。良い夫婦関係の様に、互いの立場を理解し、互いが無くてはならない掛け替えのないパートナー・同伴者であることを認め信頼し得る関係を築き、足を引っ張らず手を携え歩んで行くことである。

時には「夫唱婦随」時には「婦唱夫随」の様に、時には「官民連携」時には「民官連携」を、更には「民間連携」やより広域的な「官民連携」を期待したい。